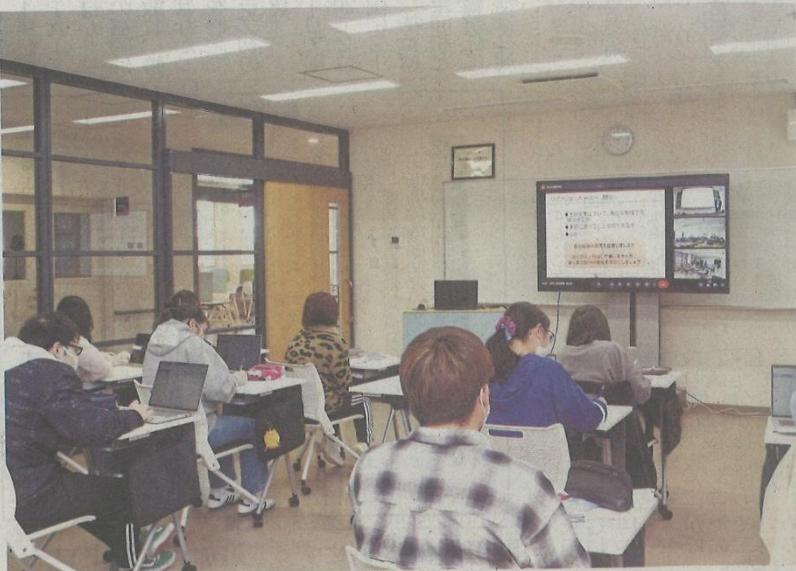


2025年(令和7年) 4月22日 火曜日

デーリー東北 11面 掲載

オンライン講義を受講する学生



八学大むつ下北キャンパス 講義、本格スタート

本年度からむつ市に開設された、八戸学院大むつ下北キャンパスの講義が本格的にスタートした。入学した学生11人は、オンライン講義と八戸市のキャンパスでの対面講義を受講し、看護師に必要な教養や専門知識を学ぶなどして、地元で のキャンパスライフを楽しんでいる。

むつ下北キャンパスは、健康医療学部看護学科に特化したキャンパス。八学大によると、看護学科の卒業に必要な131単位のうち、文科省の基準で60単位までオンラインで受講可能だという。そのため、週2回はバスで八戸市へ通い、対面講義を受けている。

17日は、リベラルアーツ(教養教育)科目の「防災と危機管理」の講義をオンラインで受講した。資料の共有だけでなく、八戸で講義している教員と受講している学生をライブカメラで映し出し、対面に近い形で学習。カメラを通して直接質問するなどして、自然災害の仕組みを学んだ。

横浜町出身の佐藤優芽さん(18)は「少人数のキャンパスは快適。オンラインでも気軽に質問できるので、充実した講義を受けることができる」と話した。

(佐藤航)

オンラインと対面で学ぶ むつ